



かなざわ せいりょう
金沢星稜大学生が「すずなり」にて奥能登活性化を考えます

○国土交通省が全国で進めている「道の駅」と大学との交流・連携の一環として、金沢星稜大学と道の駅「すずなり」及び金沢河川国道事務所の3者が連携企画型の実習を昨年度に引き続き実施することになりました。

○この取り組みは、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するとともに、「道の駅」が地域活性化の拠点を目指して進化を遂げるため、「道の駅」と大学がお互いのニーズを確認し、付加価値を創出するための企画・立案等を実施するものです。

【主な実習内容】

- ①道の駅「すずなり」「狼煙^{のろし}」にて利用者アンケート調査
- ②珠洲市観光体験メニューのPR方法提案
- ③珠洲市(徒歩圏)観光モデルコース開発・マップ作成
- ④能登スマート・ドライブ・プロジェクト充電SPOT「道の駅」での能登魅力発見調査
- ⑤能登スマート・ドライブ・プロジェクト充電SPOT「道の駅」で観光客に観光経路などアンケート調査

【対象】

金沢星稜大学経済学部 2年生18名(4チーム) 3年生12名(3チーム)

【スケジュール】

8月25日(木)～26日(金)の2日間に現地調査を行います。

・25日(木) 現地調査 12:00～17:00

・26日(金) 現地調査 9:30～11:00

10月下旬 研究成果報告会 開催

【報道関係の皆様へ】

当日取材をされる場合は、25日(木)13:00に道の駅「すずなり」にお集まりください。

道の駅「すずなり」の住所：〒927-1213 珠洲市野々江町^{すずし ののえまち}シの部15番地

※なお、取材時間・場所に関して個別にご要望がある場合は、事前に下記の 金沢河川国道事務所【問い合わせ先】まで、ご連絡をお願いします。

【問い合わせ先】

●実施内容に関する問合せ

・金沢星稜大学経済学部准教授 ^{あおき たかし} 青木 卓志

TEL:076-253-3924(代表)

・NPO法人能登すずなり(珠洲市観光協会) 統括マネージャー ^{しのかわ きょうこ} 篠川 杏子

TEL:0768-82-4688(代表)

●制度に関する問合せ

・金沢河川国道事務所 建設専門官 ^{はたなか こうじ} 畠中 拓治

^{かなざわしさいねん}

金沢市西念4丁目23番5号

TEL:076-264-9912(調査第二課直通) FAX:076-233-9641

道の駅「すずなり」と金沢星稜大学との連携

参考資料①

【調査実習内容】

①道の駅「すずなり」「狼煙」にて利用者アンケート調査

「すずなり」と「狼煙」の利用者の特徴をつかみ、道の駅利用者に関する分析を行う。また、2カ所でのアンケート調査によって、相互比較も併せて行う。

②珠洲市観光体験メニューのPR方法提案

提供されている観光体験を実際に行い、特に若者目線から、どのようなPRを行えば継続的な集客をもたらすことができるか等についての分析を行う。

③珠洲市(徒歩圏)観光モデルコース開発・マップ作成

2017年奥能登国際芸術祭珠洲開催※1に向け、30分から1時間程度の徒歩圏での周辺散策での見所の分析を行う。

④能登スマート・ドライブ・プロジェクト※2充電SPOT「道の駅」での能登魅力発見調査

のと里山空港でPHV車をレンタルし、充電SPOTをまわり、SPOT周辺での魅力発見調査を行う。

⑤能登スマート・ドライブ・プロジェクト充電SPOT「道の駅」で観光客に観光経路などアンケート調査 充電SPOTで、観光客にアンケート調査を行う。



昨年度の道の駅「すずなり」
アンケート調査状況



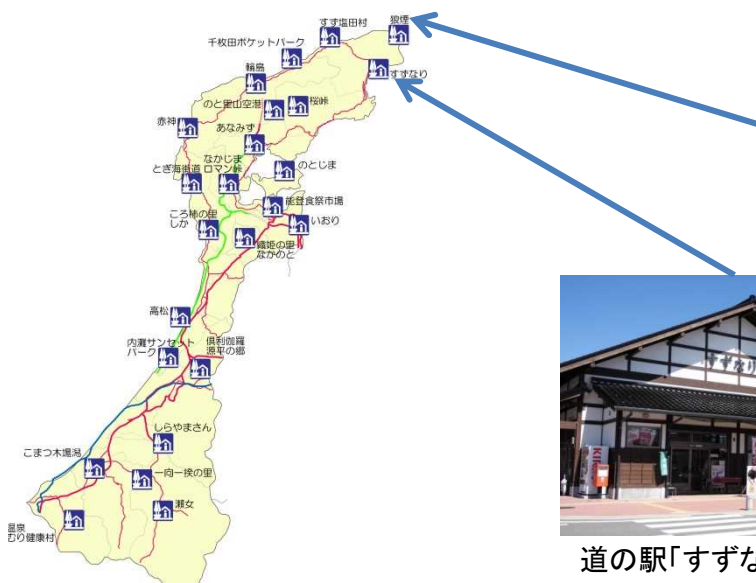
昨年度の道の駅「狼煙」
アンケート調査状況



道の駅「狼煙」



道の駅「すずなり」



※1 奥能登国際芸術祭珠洲

2017年9月3日から10月22日までの50日間開催され、珠洲市全域で、約50点の
アート作品が展示されます。

主催：奥能登国際芸術祭実行委員会

※2 能登スマート・ドライブ・プロジェクト

スマートフォンで観光情報を取得しながら、EV/PHV車で能登をドライブし、世界
農業遺産に認定された「能登の里山里海」の魅力を堪能していただくものです。

事務局：石川県商工労働部産業政策課

平成26年11月21日
道路局
観光庁

「道の駅」における大学との連携・交流を本格実施します

「道の駅」には地域の観光資源や魅力を語る人材が集まっており、地域の課題を解決する拠点となっています。また、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するためには、現場での就労体験を通して、実際的な知識や技術を学ぶことが重要です。

このため、「道の駅」を、観光振興や地域振興を学ぶ学生の課外活動やインターシップの場として本格活用することとしました。

これまで、「道の駅」において、地元大学等と個別に連携を行う事例はありましたが、全国の「道の駅」を対象に実施することにより、都市部の学生が地方部の「道の駅」で交流するなど、新たな価値の創造が期待されます。(別紙1参照)

<実施内容例>

- ・観光資源調査、地域活性化プログラムの企画・立案
- ・HP や SNS などによる情報発信の提案・実施
- ・地場産品を活用したオリジナル弁当などの商品開発

<今後のスケジュール>

平成27年度からの受入開始に向け、派遣を希望する大学等と、個別調整を進める予定。

<問い合わせ先>

道路局 企画課

課長補佐 小島 昌希 (内線 37532)

代表：03-5253-8111

直通：03-5253-8485 FAX：03-5253-1618

観光庁 観光産業課

課長補佐 堀江 直宏 (内線 27302)

代表：03-5253-8111

直通：03-5253-8329 FAX：03-5253-1585

- 「道の駅」における大学との連携、受入体制を整備し、若者の就労体験や交流の場として活用。
- 地域の魅力の集まる「道の駅」と、観光学等を学ぶ地域外の若者が交流することで、新たな価値の創造を図る。

実施イメージ



<実施内容例>

- ・観光資源調査、地域活性化プログラムの企画・立案
- ・HPやSNSなどによる情報発信
- ・地場産品を活用したオリジナル弁当などの商品開発

※ 運営等の就労体験を通じて実施するものと、大学の授業の中で実施するものを想定

これまでの実施例

○イベントの企画実施や、商品販売など様々な場面での交流体験

「霧の森」(愛媛県四国中央市)

- ・地元イベントの企画立案、実施補助のほか、道の駅内で製造されている地元名産品の製造・販売の補助を実施。
- ・H25年度は10名受け入れ、うち7名は関西圏の大学から参加

- ・H15からこれまで約110名が実施
- ・そのうち2名が「道の駅」へ就職



大学生が企画したイベント



地元名産品「霧の森大福」

○地場産品を活用した「道の駅」の商品開発

京都府亀岡市、南丹市、京丹波町の道の駅

- ・京都精華大学の大学生が、道の駅で販売するスイーツパッケージをデザイン



包装デザイン打合せ

「かなん」(大阪府河南町)

- ・道の駅と大阪府立大学の大学生のコラボによりオリジナル弁当を開発



道の駅弁当「かなん冬の恵み」